

第14回

昨年度受賞校の活動内容について

【小学校の部】 最優秀賞 いわき市立中央台東小学校

2003年度の創立よりエネルギー・環境教育プログラムに基づいた活動を15年間継続しています。全学年にわたり、ものづくり・実験を体験活動として実践しながら、生活・理科・総合の授業でエネルギーを学んでいます。また、大学や企業との連携も盛んで成果をホームページや学校だより、公開授業を通じ発信しています。今後は児童自ら考え、判断し、解決する学習プログラムを開発し、日本のエネルギー問題を解決する人材を育成していきたいです。



【中学校の部】 最優秀賞 京都市立西京高等学校附属中学校

持続可能な社会に向けて、主体的に考え行動していく力の育成を目指しています。技術・家庭を核に理科・社会とのクロスカリキュラムでエネルギーの課題を学んでいます。絵本や立体模型などの視覚教材を生徒が制作し、幼稚園児への読み聞かせという特色ある活動のほか、企業との連携や情報発信も積極的に行っています。今後もカリキュラムを見直しながら生徒が多面的にエネルギー問題を考えるよう学習を継続していきます。



【高校・高専の部】 優秀賞 北海道湧別高等学校

理科と社会科を中心に普通高校としてのカリキュラムを実践し、1年生はエネルギー問題の重要性や発電の基礎、2年生は発電方法のメリット・デメリット、3年生は地域の電力消費を支える発電方法のベストミックスや高レベル放射性廃棄物について学んでいます。また、電力会社や大学と見学会や出前授業での連携を行っていますが、今後は、エネルギー問題について生徒に考える場を与えるほか、近隣の小学校や中学校も含め地域との連携を深めたいと考えています。



【高校・高専の部】 優秀賞 和歌山工業高等専門学校

「メタンハイドレート」を題材に地域に関わった実践を行っていて、授業の他に、ワーキンググループを立ち上げ、アイデアコンテストや研究機関による公開講座を開催しています。2018年度に「マリンエデュケーション部門」が設置され、エネルギー資源の種類、国際動向も学ぶなどエネルギー教育が広がっていることを実感しています。今後もメタンハイドレートを核とした海洋エネルギー教育を全校の取り組みとして継続していきます。



エネルギー教育賞 —2019年度—



Study Energy!
可能性への挑戦

応募締め切り

2019年

10/31 (木)
必着!

主催：一般社団法人 日本電気協会(電気新聞)
後援：経済産業省／文部科学省／環境省／日本エネルギー環境教育学会
独立行政法人 国立高等専門学校機構／一般財団法人 省エネルギーセンター
電気事業連合会／一般財団法人 電力中央研究所
一般社団法人 新・エネルギー環境教育情報センター(申請中・予定含む)
特別協力：日本教育新聞社

電気新聞

(一般社団法人 日本電気協会新聞部)

一般社団法人日本電気協会新聞部が発行する電気新聞は、電力・エネルギー業界で唯一の月刊専門紙です。1907年の創刊以来、国内外のエネルギー政策をはじめ、エネルギーの需給動向、電力会社の経営、電力関連の技術開発などの情報を提供しています。読者は企業、自治体、官公庁、海外など多岐にわたっています。

第14回 電気新聞

「エネルギー教育賞」 応募要項

募集期間

2019年7月1日(月)～10月31日(木)まで

趣旨

一般社団法人 日本電気協会(電気新聞)では、エネルギー教育の実践に取り組む学校現場を応援する顕彰制度として、2006(平成18)年度より「エネルギー教育賞」を実施しております。本年度の第14回は、下記の要領で募集いたします。

たくさんのご応募をお待ちしております。

表彰の内容(予定)

1 エネルギー教育賞【最優秀賞】(計3件)

小学校の部1件、中学校の部1件、高校・高専の部1件——
受賞校にはそれぞれ表彰状と、副賞の賞金「50万円」を贈ります。

2 エネルギー教育賞【優秀賞】(計20件程度)

小学校の部、中学校と高校・高専の部合わせて20件程度——
受賞校にはそれぞれ表彰状と、副賞の賞金「10万円」を贈ります。

3 奨励賞

入賞者以外の応募者に活動事例集および記念品を贈ります。



選考委員(予定)

「エネルギー教育賞」の選考委員につきましては、
以下の方々をお願いいたしました。

- 有馬 朗人 氏 (武蔵学園長、元文部大臣) = 選考委員長
- 小田 公彦 氏 (山形大学客員教授)
- 木村 孟 氏 (大学改革支援・学位授与機構 顧問・名誉教授)
- 熊野 善介 氏 (静岡大学教授)
- 澁澤 文隆 氏 (日本エネルギー環境教育学会会長)
- 東嶋 和子 氏 (科学ジャーナリスト)
- 月山 将 氏 (電気事業連合会 副会長)



選考委員長 有馬朗人氏

表彰の対象

エネルギー教育賞【最優秀賞・優秀賞】

「エネルギー教育」活動を前年度(2018年度)に行い、本年度も継続している小学校、中学校、高等学校および高等専門学校

取り組み内容としては

- 1 全体指導計画に基づく、全校挙げて「エネルギー教育」「環境教育」の中で、エネルギーにかかわる問題を取り上げている事例
- 2 1以外にも、●教科や総合的な学習 ●学年 ●学科(高校・高専) ●課外活動などで、特色あるエネルギーに関わる学習や取り組み事例

——を選考対象とします。

※最終面に、昨年度受賞校の活動事例を紹介



昨年度のエネルギー教育賞表彰式での受賞校。

応募の方法

所定の書式(電気新聞ホームページよりダウンロードできます)に、下記の項目をご記入の上、事務局にメール、もしくは郵送してください。書式や、図表・写真使用は自由ですが、A4判6ページ以内に収めてください。

※応募書類等は原則返却いたしません。なお、応募内容を事例集や電気新聞の記事で活用させていただく場合があります。また、冊子、DVDやCD等の参考資料を添付いただいても、審査の都合上、目を通すことはできません。ご了承下さい。

【応募書類の記入項目】

- 1 貴校のアピールポイント(箇条書き5項目以内)
- 2 エネルギー教育の狙いや教育課程上の位置づけ、活動期間
- 3 具体的な学習・活動内容と授業時間等
- 4 学習、活動を通じての子供たちの反応、変化
- 5 これからの学習・活動計画や方向性
- 6 地域や事業者等との連携状況

選考方法および発表方法(予定)

全応募書類より、下記の観点から選考を行います。

- 1 学習の目的や内容、教育課程上の位置づけ
- 2 創意工夫のあり方
- 3 子どもたちの変化の度合い
- 4 活動の継続性
- 5 活動の正確性
- 6 地域等との連携性

受賞校は2020年2月に電気新聞およびホームページで発表します。表彰式は最優秀校等を招いて、東京都内で行う予定です。

応募・問い合わせ先

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館3階

電気新聞 総務局内「エネルギー教育賞」係 宛

TEL: 03-3211-1558 FAX: 03-3201-4738 E-mail: kyouiku@denki.or.jp

電気新聞ホームページ: <http://www.denkishimbun.com>

エネルギー教育賞

検索